

# 教育部・硬筆部門の出品方法について

今月号より、教育部において硬筆部門を開設いたしますので、手順をご確認いただき、ご出品されますようお願いいたします。

- 出品資格 幼児から中学生を対象といたします。
- 課題 『大東書道』36・37頁に掲載しています。
- 用紙 今月号に同封いたしました指定用紙を、原寸でコピーしてご使用下さい。また、当研究所のホームページからプリントして使用いただくことも可能です。  
**※用紙は毎月同封いたしませんのでご注意ください**
- 用具 鉛筆（4B以上を推奨）をご使用ください。中学生はつけペンまたは、万年筆を使用しても結構です。
- 出品券 毎月同封されるものをご使用ください。

## 出品作品について

切り取り線で切り離し、作品の左下に出品券を貼付してご出品ください。毛筆作品と同封で結構です。

## 級位認定について

毛筆部門同様、級位認定をいたします。8級より始まり、毎月の審査で、優秀作品は昇級いたします。ただし、新設部門であることから、現段階では、編入制度は適用いたしませんので、ご了承下さい。成績発表は、2月号からとなります。

## 硬筆用紙のプリントについて

下図の要領でプリントしてください。

学年	小六								
氏名	大東一郎								

出品券



大東文化大学ホームページより書道研究所のサイトにアクセスします。または、書道研究所で検索してください。

大東書道を選択します。

関連ファイルの中から、硬筆用紙を選択して、プリントしてください。

# 幼児～中学生の課題について

## ～ワンポイントアドバイス～

幼児～中学生の硬筆課題(P28-29)を掲載しておりますが、新年度を迎え、今回硬筆課題の書き方、審査のポイントについてアドバイスいたしますので、ご一読ください。

### ① 硬筆課題の書き方

\* 幼児～小学生は鉛筆の使用を推奨します。幼児・低学年は3B～10B程度、高学年は2B程度の硬筆用の鉛筆を使用すると、適度な柔らかさと折れにくさがあり、筆圧が弱い方でも太く、濃い線を書くことができ、文字が安定して見えます。

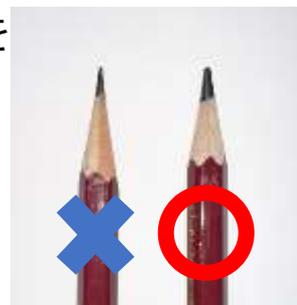
\* 鉛筆は細く削り過ぎず、適度な太さである方が書きやすいです。(右の例をご参照ください)

\* 消しゴムは、できるだけ使用しない方が望ましいです。(写真版は消しゴムを使用していない方が優先されます)

\* 学年は必ず記入してください。(例:小2、2年、書き方は自由)

また、氏名(フルネーム)を書くことが望ましいです。

なお、学年、氏名の書き方は、毛筆も同様です。



### ② 審査のポイント

\* ①の書き方をされている方が、他の方よりも美しい文字として目にとまりやすく、評価が高いです。

\* 写真版は、文部科学省の学習指導要領に準拠した書き方を優先しています。ご指導される先生方は、学習指導要領に留意の上、お手本をお書きください。

詳しくは、文部科学省 HP の学習指導要領をご確認ください。

(QRコード読込 → PDF の P42以降を参照)

